

1-4 いつ頃日本に登場し、作られ始めたの

登場した時代は ①縄文 ②奈良 ③江戸

作られ始めた時代は ④縄文 ⑤弥生 ⑥奈良 ⑦平安 ⑧江戸 ⑨明治

同じマメ科仲間の大豆(ダイズ)や小豆(アズキ)は東アジア原産で、両者とも遺跡調査の結果では紀元前4000年頃から日本では利用されているといわれています。それに比べると、落花生は南米原産で日本に導入された歴史は浅く、江戸時代(宝永3年、1706年)に長崎に導入されたという記述があり、これが今のところ一番古い記録となっています。但しこれは本土に限った話で、沖縄にはそれ以前に導入されたといわれています。

本土に導入されて、すぐに作られたという記録はありません。その理由は落花生の地下結実にあったと言われてしています。人々には、わざわざ地下に潜って実をつけるなんて縁起が悪いと嫌われたようです。

ようやく明治になって、作られるようになりましたが、それでもなかなか作られず、少数の先覚者が国や県等の後押しの下に、積極的に取り組んだ結果、ようやく一般化するようになりました。神奈川県では明治4年(1871年)に試作を行った渡辺(寺坂)慶次郎氏、千葉県では明治9年(1876年)に試作を行った牧野万右工門及び明治11年(1878年)以降に栽培を奨励した金谷総蔵の両氏が先覚者としてあげられています。

実際に作ってみると、おいしく作りやすくて儲かる作物であることがわかり、スムーズに普及しました。大正時代にはいろいろな地域で作られ、それぞれにあった品種も作られ始めています。

正解 ③と⑨